

北部地域整備対策特別委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和6年10月31日（木）～11月1日（金）

2 視察項目（視察都市）

- ・南砺市エコビレッジ構想について（富山県南砺市）
- ・企業誘致優遇制度及び富山市で管理されている企業・工業団地について（富山県富山市）

3 参加委員

委員長：岡本 壱郎、副委員長：塚 理
委員：朝田 充、西野 貴治、安孫子 浩子、坂口 康博、円藤 こずえ
委員外議員：山本 由子

4 調査概要

南砺市では、少子高齢化、若年層の流出といった課題を解決するため、地域の豊かな自然環境を生かしながら地域の自立循環、活性化及び人材育成を目指す南砺市エコビレッジ構想を策定された。同構想は、「小さな循環による地域デザイン」を基本理念とし、住民が支え合う仕組みや環境負荷の少ない暮らし方、食料・エネルギーの自給など、地域の資源から付加価値を生み、地域全体の自立度を高めるまちづくりを進める



もので、産官学そして市民が連携した様々な取組みが進められている。

富山市では古くから製造業が盛んだが、近年、若者の市外流出が問題となっており、製造業や情報処理業をターゲットに企業誘致が進められている。企業団地の整備や工場等の新設・移設等に伴う経費の助成等の優遇制度にも取り組んでおり、制度を利用した新規創業・新規雇用が生まれている。

5 委員長所感

南砺市エコビレッジ構想は、地域社会と自然環境が調和し、持続可能な生活基盤を築く意欲的な取り組みだと感じた。特に住民が主体的に参加し、地域独自の資源や特性を生かした施策を行っている点が素晴らしく、様々な課題を抱える地方自治体や過疎化に直面する地域にとって、持続可能で魅力的な生活圏の構築という面で非常に参考となる取組みである。

富山市の企業誘致優遇制度と企業・工業団地の市による管理は、地域経済の成長や多様化を目指した戦略的な取組みとして意義深いと感じる。人口減少や若者の流出への対策としての新しい雇用機会の創出に加え、地元企業との連携等により地域経済全体への波及効果も期待され、市の競争力を高めるための重要な取組みとして他地域にとってもモデルとなるものだと考える。